



# かわごえ 議会だより

Kawagoe town council

No. 177

令和5年8月1日発行  
三重県川越町議会

## 令和5年6月定例会

議案のあらまし .....	2
各委員会報告・Q&A .....	3
新ボランティア施設建設開始 .....	4
川越中学校改築 .....	4
議会のヤル気! .....	5
一般質問(8議員) .....	6~13
まちの元気な人・町の話 他 .....	14

## 第2回 6月定例会

令和5年第2回定例会は、6月7日から16日までの10日間の会期で行われた。初日は、8人の議員が町長に対して一般質問を行い、続いて町長より議案10件の提案があり、審議後、7件を原案可決、同意した。議案3件は、各委員会に付託され、審査することとなった。最終日には、各委員会に付託された案件を全て原案可決した。

### 議案のあらまし(全会一致)

※付託先欄 総…総務建設常任委員会 教…教育民生常任委員会 予…予算特別委員会 即…本会議即決

区分	議案番号	議案名 あらまし	付託先	議決結果
補正予算	令和5年度 議案第33号	一般会計補正予算(第2号) 2,057万4千円を追加し、予算総額を73億2,224万9千円とする。	総・教	可決
改正等	議案第34号	川越町印鑑の登録及び証明に関する条例及び川越町手数料徴収条例の一部改正について 関係法令の改正に伴い当該条例の改正を行うもの。	総	可決
	議案第35号	川越町税条例の一部改正について 関係法令の改正に伴い当該条例の改正を行うもの。	総	可決
その他	議案第27号	農業委員会委員の任命について 令和5年7月20日以降の新しい農業委員の任命を行うもの。 寺本 雄治(豊田一色) 石川 栄治(亀尾新田) 水谷 俊治(豊田) 星野 重粹(南福崎) 黒田 寿仁(当新田) 片山 晃三(豊田一色) 柳本 明美(北福崎) ※任期は3年	即	同意
	議案第28号	工事請負契約の締結について ●工事名 川越町ボランティア施設(仮称)建設工事(建築工事) ●契約方法 一般競争入札 ●契約金額 1億1,712万8千円 ●契約相手方 生川建設株式会社 ●概要 豊田一色地内において、鉄骨造平屋建て、延べ面積193㎡のボランティア活動拠点施設を建築するもの。	即	可決
	議案第29号	工事請負契約の締結について ●工事名 いきいきセンター非常用発電機更新工事 ●契約方法 一般競争入札 ●契約金額 1億858万1千円 ●契約相手方 株式会社六兎電気産業 ●概要 いきいきセンターの非常用発電機について、災害発生時に福祉避難所として初動対応ができるよう、発電機の更新時期に合わせ、今回更新するもの。	即	可決
	議案第30号	工事請負契約の締結について ●工事名 上吉公民館長寿命化改修工事 ●契約方法 一般競争入札 ●契約金額 8,826万4千円 ●契約相手方 株式会社トヨタータルデザイン ●概要 屋上防水、外壁、建具、内装、電気設備、空調設備及び給排水設備等、建物全体の改修工事を行うもの。	即	可決
	議案第31号	工事請負契約の締結について ●工事名 亀須公民館長寿命化改修工事 ●契約方法 一般競争入札 ●契約金額 9,885万7千円 ●契約相手方 松岡建設株式会社 ●概要 屋上防水、外壁、建具、内装、電気設備、空調設備及び給排水設備等、建物全体の改修工事を行うもの。	即	可決

区分	議案番号	議案名 あらまし	付託先	議決結果
その他	議案第32号	工事請負契約の締結について ●工事名 亀崎公民館長寿命化改修工事 ●契約方法 一般競争入札 ●契約金額 2億4,657万6千円 ●契約相手方 株式会社トヨタータルデザイン ●概要 屋上防水、外壁、建具、内装、電気設備、空調設備及び給排水設備等、建物全体の改修工事を行うもの。	即	可決
	議案第36号	三重県市町公平委員会を共同設置する地方公共団体の数の増加及び三重県市町公平委員会共同設置規約の変更に関する協議について 関係する地方公共団体と協議するため、議会の議決を求めるもの。	即	可決
報告	報告第4号	例月出納検査の結果報告について 一般会計・国民健康保険特別会計・介護保険特別会計・後期高齢者医療特別会計・公共下水道事業特別会計・水道事業会計 令和5年2月分・3月分・4月分	-	-
	報告第5号	議員派遣の報告について ○令和5年度町村議会議長・副議長研修会	-	-
	報告第6号	令和4年度川越町線越明許費について 体験型避難所設営訓練事業及び、川越町公共下水道川越排水機場建設工事委託に関する協定に関する費用。	-	-

## 6月補正予算の概要

第2回定例会における、議案第33号一般会計補正予算の主な内容は下記のとおりです。

会計種別	補正金額	主な事業	金額
一般会計 (第2号)	2,057万4千円	庁舎エスカレーター修繕工事費	495万円
		新型コロナウイルスワクチン接種事業	832万9千円
		小中学校CO <sub>2</sub> モニター設置事業	53万円
		中学校仮設校舎建設に伴う駐車場整備等事業	590万1千円
		給食センター調理器具(フードミキサー)更新	86万4千円

### ◆教育民生常任委員会

◎令和5年度川越町一般会計補正予算(第2号)

### 常任委員会Q&A

Q 空気清浄機を各教室に設置する考えは。

A 幼稚園には付けているが、各小中学校へ設置する予定はない。

Q 窓を開けて対応していくというのか。

A 学校の大きさ、教室の数、広さ等、窓を開けての換気が非常に重要になる。CO<sub>2</sub>モニターを設置することで、子どもたちが数値を見て自主的に換気をするようにお願いしている。

Q 中学校の建て替えについて、仮設校舎の工事はいつから始まるのか。

A 令和6年1月頃から始まる予定。

Q 夏休みに引越しをするが、9月1日、引越した後から解体が始まるのか。

A 多少の時間のずれはあると思うが、引越後に解体を行っていく。

Q 仮設駐車場について、ホールでの催し物の際に駐車場の周知は広報で行っていくのか。

A 町全体で駐車場の調整をしながら、旧役場の駐車場140台分の確保に向け協力をお願いしながら動いている。

Q それまでは今の駐車場は使えるのか。

A 予定ではそうなっているが、調査等々で若干早まる可能性はある。



# 議会のやる気!



皆さんに関心を持っていただけるよう開かれた議会を目指し、2年間の目標を掲げ議会活動を皆さんに発信してまいります。

- ①タブレットを導入しペーパーレス化を図り時代に取り残されないよう議員間にて講習会等により研鑽をはかります。
- ②友好交流都市である新潟県聖籠町との交流事業を継続します。
- ③子ども議会の開催を継続します。
- ④女性の政治参画を促すため、女性模擬議会を推進します。
- ⑤議会見学会の開催へ向けて取り組みます。
- ⑥各常任委員会で目標設定を行い政策提言に繋がられるよう議員間討議を進め先進地への視察研修を行います。
- ⑦災害時でも議会機能を維持するべく議会BCP(業務継続計画)を作成します。
- ⑧議会・議員スケジュールにて活動内容を明示していきます。

## 〈議会・議員活動スケジュール〉

月(〇印開催)	5	6	7	8	9
議会	○	○			○
全員協議会		○			○
議会運営委員会	○			○	
総務建設常任委員会		○			○
教育民生常任委員会		○			○
予算特別委員会					
決算特別委員会					○
議会広報特別委員会	○	○	○	○	○
議員協議会			○	○	○
環境クリーンセンター議会(杉本、早川、稲塚)	○				
環境クリーンセンター監査(早川)			○	○	
朝明広域衛生組合議会(片山、柳川)	○				
朝明衛生組合監査(柳川)		○	○		
三重郡老人福祉施設組合議会(森、森本)					○
国民健康保険運営協議会(寺本由、松岡)	○				○
監査(安藤)	○	○	○	○	○
都市計画審議会(寺本清、山下、寺本由、杉本、早川、柳川)					
下水道審議会(杉本、早川、柳川)					○
川越町介護保険事業策定委員会(早川)		○			
川越町子ども・子育て会議(早川)			○		
川越町障がい者計画策定委員会(早川)					○
川越町地域公共交通会議(山下)					○

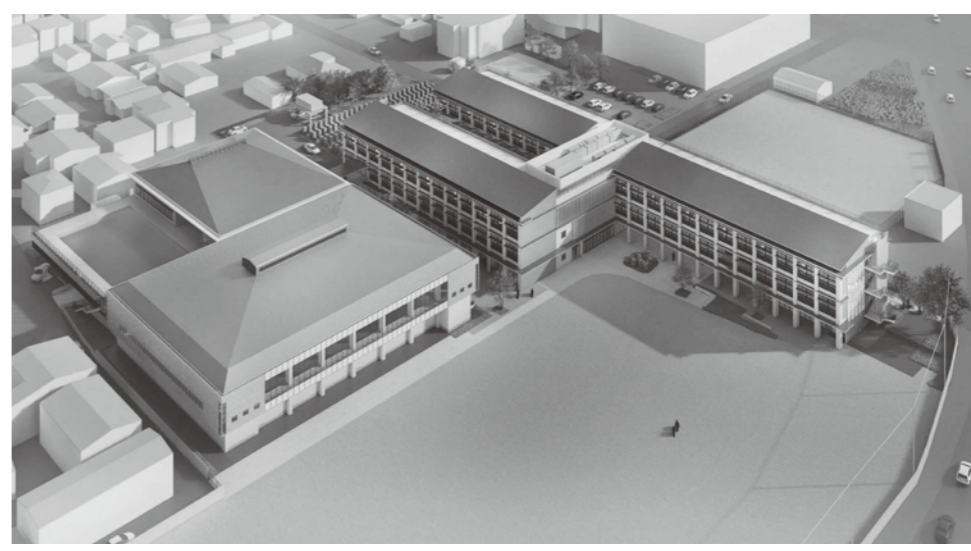
- \*一部事務組合概要
- 朝日町、川越町組合立環境クリーンセンター  
(杉本、早川、稲塚)：  
川越町、朝日町で出たごみを回収する。施設は四日市市川北町地内。
  - 朝明広域衛生組合  
(片山、柳川)：  
四日市市、菰野町、川越町、朝日町で構成し、し尿処理場の建設及び運営に関する事務を共同で処理する。施設は川越町高松地内。
  - 三重郡老人福祉施設組合  
(森、森本)：  
菰野町、川越町、朝日町で特別養護老人ホームみずほ寮を構成する組合。施設は三重郡菰野町菰野地内。

## 川越中学校改築スケジュール

- 実施設計：令和5年4月→令和6年3月
- 仮設校舎建設：令和6年1月→令和6年8月
- 引越し：令和6年8月(予定)
- 仮設校舎での授業：令和6年9月→令和8年8月
- 既設校舎解体：令和6年9月→11月
- 新校舎建設：令和6年12月→令和8年8月
- 新校舎での授業開始(予定)：令和8年9月

- <概算事業費>
- 仮設校舎リース代：約5億5千万円
  - 新校舎建設費：約54億5千万円  
\* 3階建て
  - 合計：約60億円

※基本設計におけるイメージであり、変更になる可能性があります。



## ボランティア施設の建設が始まります!

**完成予定**  
令和6年3月末

**場所**  
豊田一色地内 役場南側



川越町ボランティア  
連絡協議会会長  
吉原 悦子 さん

施設の建設に感謝しています。この施設を有効活用して、町民の皆さんがボランティアを身近に感じていただき、皆さんと繋がっていきたくと思っています。これからも社会福祉に貢献できるよう活動がんばります。

# 町政の進展と 城田町長の3期目の出馬意思は

## 堅忍不拔の意で、今後町政を全身全霊で 取り組む覚悟で3期目に挑戦する所存(町長)



早川 茂樹 議員



**問** 町の将来像実現のために引き続き城田町長のリーダーシップのもと、3期目に向かって町長選出馬の意向は。

**答** 町長 今後も安心して暮らし続けることができない町を目指し、堅忍不拔の意をもって町政のかじ取りを全身全霊で取り組む覚悟で3期目に挑戦する所存だ。

**問** 現在ほどのような手法を用いて保育士の確保をしようとしているのか。

**答** 町長 正規職員は、町広報紙、ホームページで募集をかけて保育士の確保に努めている。また、会計年度任用職員は、町広報紙、ホームページに加え、ハローワーク、三重県からの委託を受け三重県社会福祉協議会が運営をしている三重県保育士・保育所支援センター等への求人により保育士の確保に努めている。

**問** 保育士が辞めないための環境整備をどのように考え、実行しているのか。

**答** 町長 ハード面は、休憩

や打合せ等が行える部屋を改修、職員トイレの洋式化、Wi-Fiの整備を行ってきた。次に、ソフト面は、保育システムの活用、使用済おむつの園での回収を開始するなど日々の業務の省力化を行うとともに、休憩・休暇の取得を効果的、効率的に行うためのフリー保育士、パートタイム保育士を以前に比べ、増員して配置を行ってきた。また給料面では、近隣市町よりも高い賃金を設定することで、保育士の待遇改善を実施。さらに、職員間における風通しのよい職場環境づくり、園長・主任級の保育士が中心となって、保育所内での職員のサポートができる体制や連携の強化を図っている。その他、現場が抱える諸課題に耳を傾ける

# 指定無形民俗文化財 の継承の方法は

## 伝承用映像ソフトや文化財調査報告書を活用しながら各地区と共に、保存・継承に努める(教育長)

**問** もう少しゆとりを持った配置基準に見直しを検討できないか。

**答** 町長 当面の間は、現在の配置基準での運用を行っていく。

**問** 町として横断的な「祭り部会的なものをつくり、区の執行部や祭りの実行部隊を集めて、今後どのように文化財を後世に継承していくのかというアイデアを出し合う場をつくってはどうか。

**答** 生涯学習課長 各地区の祭りの運営状況と課題、継承方法などの情報共有を行うことは後世への祭りを継承していくためには必要と考え、前向きに検討していく。



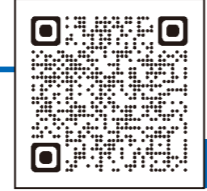
豊田区の石取祭り子ども祭車

# 1号線・23号線員弁川堤防道路 完成による問題点と対策は

## 今後も、警察、三重県に対して、安全対策の 必要性を強く要望していきたい(町長)



山下 裕矢 議員



**問** 員弁川堤防から国道1号線への工事が、完成すると国道23号線から1号線へ抜ける道として、交通量も増えると思われる。工事期間はいつまでで、完成後は車両規制等はあるのか。

**答** 町長 県から、令和6年度に完成することが公表され、町として事業の進捗を注視し、情報共有に努めています。国道23号から国道1号を結ぶ重要な道路として位置づけられており、大型車両の通行規制はないとの回答であった。

**問** 完成するにあたって県と町での、課題等話し合いは。

**答** 町長 朝日町地内で実施されている工事では

あるが、当町への影響があるものと認識しており、供用開始に向けて県との情報共有に努めていきました。また、当町・亀須地区の通学路の交差点には信号機の設置等、警察への要望は今以上にできないか。

**問** 交通量の増加が想定される中、通学路等、現在同様の対応で大丈夫か。また、当町・亀須地区の通学路の交差点には信号機の設置等、警察への要望は今以上にできないか。

**答** 町長 当該道路には、小学生的の通学路として、横断歩道のある交差点が1ヶ所あり、以前から信号機設置について、区長やPTAからの要望があり、警察に対し協議や要望を行ってきた。しかし、信号機の設置の指針には該当せず、設置出来ないとの回答であったため、町として信号機設置以

外の安全対策、カラー舗装化や子ども注意などの路面標示、また注意看板を設置してきた。完成後は、子どもたちが横断するには非常に危険を伴う可能性が出てくる。今後も、警察、三重県に対して、安全対策の必要性を強く要望していきたいと考えている。

**再** 信号機の設置の指針とはどういった内容で、その指針に合えば、信号機の設置が可能になるのか。

**答** 安全環境課長 全てに該当しなければならぬ必要要件が5つと、どれか1つに該当しなければならぬ択一条件が4つある。

※必要条件(文面抜粋)  
1. 停止している自

動車等の側方を自動車等が安全にすれ違うために必要な車道の幅員が確保できること。  
2. 歩行者が安全に横断待ちをするために、必要な滞留場所を確保できること。  
3. 1時間の主道路の自動車等往復交通量が原則として300台以上であること。  
4. 隣接する信号機との距離が原則として150m以上離れていること。  
5. 運転者及び歩行者が信号を良好に視認できるように信号柱を設置できること。

※択一条件(文面抜粋)  
1. 人身事故が、設置を検討する前の1年間に2件以上発生しており、他の対策により代替ができないと認められること。  
2. 生徒、児童、幼児等の交通の安全を特に確保する必要があること。  
3. 自動車等往復交通量が、交通量の条件で示す領域にあること。  
4. 歩行者が容易に横断することができない場合で、直近に立体横断施設がないこと。  
条件に該当した場合に、設置を検討していくものであり、全て設置出来るものではないと聞いています。今後、警察や道路管理者である三重県に強く要望していきたい。

# スクールバス導入の考えは

## 現段階では考えていない(教育長)



安藤 邦晃 議員

「川越町通学路交通安全プログラム」として、必要性や緊急度に応じた対策の方法について協議を行い、危険箇所の改善を進めている。不審者の対応は、情報が入った時は、警察に連絡をし、町としてもパトロールを行って。また、徒歩での通学は基礎

**答** 教育長

「全国で小学生の登下校中の交通事故が多発している。また不審者による声掛けや身体を触られたといった報告もされているなど、通学路には危険が多く存在している。さらには、通学距離が長く長時間歩くことによる疲労で学習に集中できなくなるなど様々な弊害を生みかねない。こういった観点からもスクールバス導入の検討としては如何か。」



元気に登校する児童

**再** 学校教育課長

志摩市のようにスクールバスを導入は考えていない。

**再** 学校教育課長

熱中症対策の指導も行っており、導入は考えていない。

**再** 学校教育課長

夏の暑い時期に低学年だけでも実施できないか。

# 給食費無償化の考えは

## 有償を継続していく(教育長)

**問** 近年、物価高の影響で負担が増している子育て世帯への支援策の一つとして給食費を無償化する自治体が増えていく。

**再** 学校教育課長

また、教育の一環でも「食育」は重要であり、将来にわたり健康であり続けるための礎となるものと考え、給食費無償化の考えは、

「保護者の負担とする」との規定の解釈は「保護者の経済的な負担の現状からみて児童の給食費の一部を補助するような場合を禁止する意図ではない」と解釈している。

**再** 学校教育課長

日本国憲法では「義務教育は無償」学校給食法では「学校給食を受ける児童生徒の保護者の負担とする」とあるが、見解は。

経済的な理由により就学が困難と認められる児童生徒には給食費を全額援助しているが、一般世帯には、現行の有償を継続していく。しかし社会情勢の変化により検討の可能性もあり、近隣市町村の動向も注視していきたい。



給食風景

**再** 給食費の金額と徴収方法は。

小学1年生から3年生までは4,050円、4年生から6年生までは4,200円で、銀行口座から自動引き落としとなっている。

# Jアラートに対する行動は

## 屋内の場合、窓から離れ、窓のない部屋に移動し、屋外の場合、頑丈な建物に避難するか地下に避難する(町長)



森 英郎 議員

**答** 町長

Jアラート(全国瞬時警報システム)が発令された場合、短時間に住民はどのような行動したらいいのか、どこに避難したらいいのか当町には地下避難施設が無いように思う。堅牢な建造物も見当もつかない状態。どの様に、どこに避難したらいいか(屋内、屋外)。

屋内の場合は、爆風で壊れた窓ガラス等で被害を受けないように、窓から離れ、できれば窓のない部屋に移動、屋外の場合は、近くの頑丈な建物に、なければそれ以外の建物か地下に避難。建物が無い場合には、物陰に身を隠すか、地面に伏せて頭部を守る。

**問** 緊急一時避難施設の有無は。

**答** 町長

緊急一時避難施設は、弾道ミサイルに対する緊急一時避難施設として、川越町総合体育館、川越中学校、川越北、南小学校、いきいきセンターの5カ所を指定している。内閣官房ポータルサイトや三重県ホームページで公表されている。町ホームページなどで

**問** 地下施設はどの様に考えているか。

**答** 町長

都市部などは、地下駐車場や地下街などが整備されており、そこを避難場所として有効活用することも可能だが、当町のような小さな町においては、そのような地下施設は考えていない。

**再** 新たな公共施設を作る時に付随して、地下施設をつくれないうか。

**答** 安全環境課長

現時点においては、新たな公共施設建設に際しても、付随して地下施設を作ることは考えていない。しかし今後、地下機能が必要と判断されるような公共施設建設に関しては、避難的な機能が加味できるかどうか検討していく。

**再** 頑丈な建物とはどのような建物か。

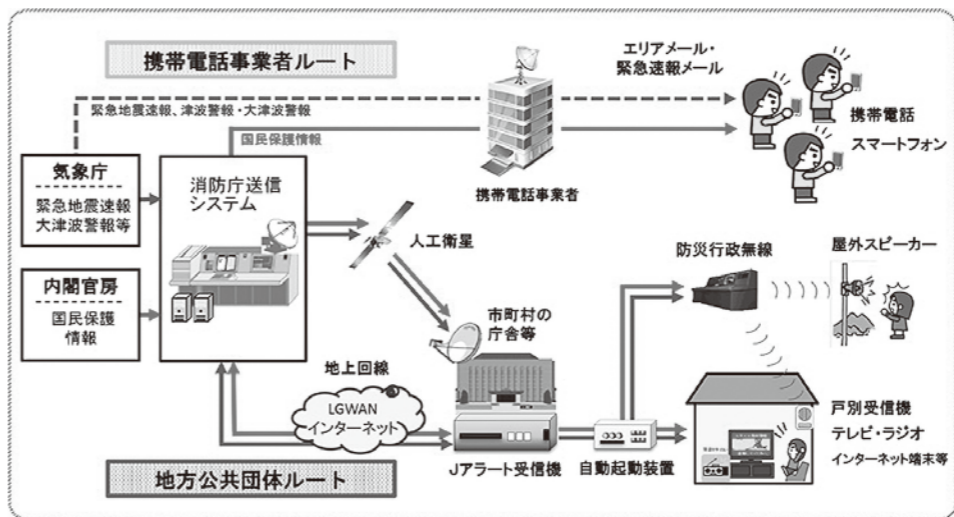
**答** 安全環境課長

定義はないが、国が示しているのは、ミサイル着弾時の爆風や破片から身を守るコンクリート造

さらなる周知を図っていく。

り等で出来た建物とされる。

※全国瞬時警報システムとは、弾道ミサイル情報や緊急地震速報、大津波警報など、対処に時間的余裕のない事態に関する情報を、携帯電話等に配信される緊急メール、町防災行政無線等により国から町民まで瞬時に伝達するシステム。



ない事態に関する情報を、携帯電話等に配信される緊急メール、町防災行政無線等により国から町民まで瞬時に伝達するシステム。

# 後期高齢者の方に自主公演の割引券を発行できないか



柳川平和 議員



助成は難しい(教育長)

**問** 子どもは国の宝というが、私は、高齢者もこの国を作ってくれた宝を作ってくれた宝だと思っている。宝である高齢者の方々に感謝の気持ちを込めたもの、ことをお渡しできないかと考えている。そこで伺う。

**答** 令和5年度に町主催のあいあいホールで行うイベント何回あるのか。

**答** 教育長  
予定している自主事業は、自主公演が5回、映画及びピアノ試演会の全部で7回。5回の自主公演は、イベントより提案があった企画をジャンル別に取りまとめ、あいあいホール企画委員会に諮り、予算の範囲内で契約まで進めていく。

**問** 後期高齢者の方々を敬って。チケット代金を助成できないか。

**答** 教育長  
自主公演のチケット販売は、あいあいセンター事務所窓口とチケットぴあを予定している。事務所窓口のチケット販売は、町内在住かを聞き取りしている。窓口購入者が当日来館するとは限らない。複数枚購入した人の把握は困難。チケットぴあについては把握できていない状況。他館の状況についても三重県総合文化センターをはじめ近隣市町においても後期高齢者へのチケットの助成されている自治体はない。これらことから後期高齢者へのチケット代の助成は難しい。

**再** 私は、後期高齢者感謝券500円割引を発行できないかと考えている。後期高齢者の方に感謝券5枚つづりを送って、生涯学習課窓口での購入の際に持ってきてもらう。チケットに感謝券を付けて販売し、来館の際にチェックする。どうか。

**答** 生涯学習課長  
割引券を郵送すると経費もかかるし事務量も増加する。窓口でのチケット購入時や入館の際はマイナンバーカード、免許証など顔写真付きのもの、改め住所、生年月日の確認が必要になり、手間を取らせることになる。よって難しい。

**答** 副町長  
高齢者の方々には元気なうちにみんな

**再** 認知度向上の情報発信は。

**答** 福祉課長  
需要に対して生産が追いつかない状況だが、引き続き広報媒体を活用していく。

**再** 町民や中学・高校生を巻き込んだ防災訓練は。

**答** 町長  
繰り返しの訓練は防災の意識付けや有事の際に行動できるなど重要。防災の核となる人材の育成にもつながる。多世代にわたる訓練などを検討し実施していきたい。

**再** 避難所経路確認と体力向上を兼ねて防災ウォーキングで歩くコッパなどの訓練実施は。

**答** 安全環境課長  
防災の視点で、自宅や職場周辺の災害リスクや避難場所までの時間・体力を知り、避難しやすい歩き方の確認ができる。歩く力や体力の維持向上も図れるので協議を進めていく。

柳川作成サンプル

No. 1	No. 1
後期高齢者 <b>感謝券</b>	<b>感謝券</b>
<b>500円割引券</b>	受付印
地区名: ご氏名:	地区名: ご氏名:
*自主事業に限り一人1枚1回限り有効 発行:〇〇町	発行:〇〇町



寺本由美 議員



# ミニトマトの試行的栽培の進捗状況は

包括的な支援体制を検討していく(町長)

**問** 5年目を迎えた試行的栽培の進捗状況を問う。JAのビニールハウス施設整備は。

**答** 町長  
育苗施設でのハウス栽培。溶液送水設備やカーテンの自動開閉装置等を備え、収穫量や品質の向上に努めている。

**問** 現状の雇用で作業や管理は十分か。

**答** 町長  
作業は就労継続支援B型の障がい者2名に指導者が1名同行。施設外就労で週2〜3日の勤務シフト。ボランティアによる作業補助。シルバー人材センターより派遣と町職員で管理や苗木の誘因作業・防除作業等を実施。また、職員が勤務調整やミニトマトの販売。

**問** 引きこもり支援や不登校支援になる、きつかけづくりの考えは。

**答** 町長  
障害者等就労事業だが、それ以外の活用も考えられる。包括的な支援体制を協議し検討していきたい。

**問** 今後の準備体制の改善は。

**答** 町長  
今後も共生社会の形成に向けた支援を検討する。

**問** 費用対効果は。

**答** 町長  
令和4年度は売払い収入は増加したが、本年度は価格高騰などでマイナス収支の見込み。

# 災害に備えた避難訓練は

多世代にわたる訓練を検討し実施していく(町長)



訓練の様子

**再** 認知度向上の情報発信は。

**答** 福祉課長  
需要に対して生産が追いつかない状況だが、引き続き広報媒体を活用していく。

**問** 家族で避難所生活を体験することも大切。昨年度から延期の「体験型避難所設置訓練の実態内容は。

**答** 町長  
7月1日から2日に実施。対象を小学生全体に広げ、開始日を土・日曜日、開始時間を14時に変更し募集中。

**再** 避難所経路確認と体力向上を兼ねて防災ウォーキングで歩くコッパなどの訓練実施は。

**答** 安全環境課長  
防災の視点で、自宅や職場周辺の災害リスクや避難場所までの時間・体力を知り、避難しやすい歩き方の確認ができる。歩く力や体力の維持向上も図れるので協議を進めていく。

# 専門職の(仮称)防災監を任用し、各地区の防災力向上に取り組む考えは

県や消防とも連携を取りながら進めたい(町長)



稲塚利夫 議員



**問** 地区人口に対する指定避難所(地区公民館)の収容可能人数の考え方は。

**答** 町長 専門的なノウハウをもった職員についても必要性を考えていくと同時に、県や消防とも連携を取りながらしっかりと進めていきたい。

**問** 他の自治体から防災に精通した専門職員1名を出向していただく形で(仮称)防災監を設け、平時から自助、共助の考えのもと、各地区と町内民間事業所などが連携し、いざという時に逃げ遅れない避難を実現するための訓練や研修などを行政主導により各地区で定期的に行ったらどうか。

**答** 町長

## 地区人口に対する指定避難所(地区公民館)の収容力の考え方と今後の整備計画を問う

地区ごとの避難者数は出していないが、町全体の指定避難所の収容力に不足があり、避難を呼びかけている。今のところ新しい避難タワーなどの建設は考えていない(町長)

**答** 町長

地区ごとの避難者数は出していないが、地区公民館の殆どは人口の増加により避難所としての一人当たり面積が確保できない。また巨大地震で津波を想定した場合、町全体の指定避難所の収容力も不足

**再** 避難を促すこととは重要であるが、海や河川に面し全域がほぼゼロメートル、液状化の危険度が最も高い川越町では、巨大地震発生時に遠くまでの避難するのは困難ではないか。避難を促

**答** 町長 今のところ新しい避難タワーなどの建設は考えていないが、昨今の異常気象などにより想像を超えた災害が発生する可能性があるが、国や県から出される被害想定などを注視していきたい。

**問** 今後の指定避難所(地区公民館)の増設や避難タワーの整備計画はどうなっているのか。

**答** 町長

す施策と並行して、地区の実情と指定避難所(地区公民館)を一度精査し、地区人口に対する一定の基準を設け、基準に満たない避難所や避難場所の整備を計画的に行い、そこに備蓄食料や支援物資などを分散蓄積したらどうか。

**再** 現在、津波避難ビルとなっている施設や、条件を満たす新たな施設と協定を結び、河川洪水や高潮のときにも利用できる避難場所として確保できないのか。

**答** 安全環境課長 避難所の数、避難場所もちょっと少ないという部分があるので、その辺は急いでやる必要があるが、色々なこと、全体的なことを見て検討を進めてきた。

南海トラフ地震発生で津波を想定した場合の避難者数と指定避難所の収容人数(令和5年6月議会答弁を基に作成)

発災直後の想定避難者数	避難場所	想定避難者数(A)	類別	指定避難所の状況(町全体)	
				試算収容人数(B)	収容できない人数(A-B)
約13,000人	指定避難所	約8,500人	①最大収容	約5,300人	約3,200人
			②洪水の場合	約3,500人	約5,000人
			③津波の場合	約2,600人	約5,900人
	避難所外	約4,500人	—	—	—

指定避難所：川越町総合体育館、川越南・北小学校、川越中学校、川越町いきいきセンター、川越町あいあいセンター、県立川越高校、各地区公民館  
避難所外：在宅避難、車中泊など

**答** 安全環境課長 町内に大きな高い建物が少なく限られるが、過去に交渉が上手くいかなかった所などへ再度アプローチをしたい。

# 避難行動要支援者の避難マニュアルについて

避難行動要支援個別支援計画として作成を進めている(町長)



杉本雅照 議員



**問** 災害発生時、避難行動要支援者に対して、消防や行政機関等へすぐや救助等に行けないことが考えられるが、避難行動要支援者の避難マニュアルはあ

**答** 町長

自力での避難が困難な方を孤立させないよう、支援ガイドラインを作成した。要支援者の個別状態を整理、把握し、避難行動要支援個別支援計画として作成が進んでいる。亀崎地区の取組を参考に作成している。ライフジャケットは、浮力が確保できている。しかし、要支援者の中には、自身

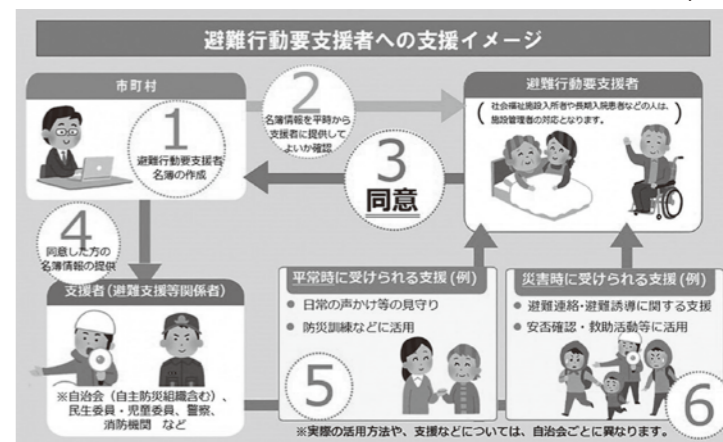
で装着できない場合もあり、津波警報時、速やかに避難行動へ繋げられるよう、個別の支援計画の作成を推進していく。ライフジャケット等の命を守る有効なものについて、公助として支援の方向性について検討していく。

**再** 避難行動要支援者が必要な人数と個別支援計画の進捗状況、他の市の取組状況は。

**答** 福祉課長

現在、避難行動要支援者台帳登録者は535名、同意を得ている方は359名で個別支援計画の対

また、個別計画作成済者は18人。各地区への説明会を順次開催し、区長会においても先進地視察を行い取組んでいる。他市町は県内29市町中15市町が策定に取組んでいる。



## 高松海岸有効利用について

自然環境を次世代に継承し保全していくことが適切(町長)

**問** 高松海岸は、希少動植物が生息し、町にとって数少ない観光資源であり、自然を守りながら有効活用すべきだと思いが、B、BQのゴミや成の放置、週末の駐車場不足など問題が多々あるが有効利用について町の考えは。

**答** 企画情報課長

県への提案について、ごみの問題やマナー等は、現状に比べて県に働きかけをしていき、協力要請がある場合には、協働によるまちづくりを推進する観点から、協力できるところは、協力していく。

**再** 高松海岸の有効利用について町から県に提案できないか。また、県から協力依頼があった場合、町の対応は。

## 川越いきいきそば打ち会

私たちは、素人のそば打ちボランティア団体です。活動において大切にしている3つの活動理念をご紹介します。

①地域活性化への寄与と貢献  
地域活動を通じて「打ちたて、茹でたて」のそばを提供しています。本会の活動が町の活性化に少しでも寄与し貢献できればと願っています。

②仲間づくり  
ボランティア活動としてそばを打つ理念に共感し、美味しいそばを自分で打てることを目的とした仲間が集まっています。

③人格形成  
そば打ちには「清潔第一」「食べてくれる人への思いやり」を持った一連の作業です。相手を思い、必要な知識と技能を身につけるために日々自己研鑽に励んでいます。平成20年に活動を開始し、今年で15年を迎えます。男性9名、女性9名、計18名の会員が毎週月曜日、ボランティアハウス「ささえあい」にてそばを打っています。見学も大歓迎。ご興味のある方は川越町ボランティアセンターへお気軽にお問い合わせください。

川越町

ボランティアセンター

TEL 365-0024



かわごえ議会だより No.177 2023.8.1

### お知らせ 令和5年 第3回 定例会予定

月	火	水	木	金	土	日
9/4	5 本会議 (開会)	6	7 午前 総務建設 常任委員会 午後 教育民生 常任委員会	8	9	10
11	12 決算特別委員会	13	14	15	16	17
18	19 本会議 (閉会)	20	21	22	23	24

傍聴することで町政への知識を深め、町議会の活動方針を知ることができます。また、本会議当日は、役場1階ロビーのテレビにて、議会の模様をご覧いただけます。

### 町の話

#### エスカレーター復活!!

ご不便をおかけし、約3か月故障していた1階エスカレーターの修理が完成し、復活しました。エレベーターで対応していましたが、エレベーターでは、上下の待ち時間もあって、イライラされた方も見えたと思います。エスカレーターなら待ち時間なく、2階に行けますので、ご利用ください。  
○修理費用…495万円

#### いきいきセンター非常用発電機更新!!

いきいきセンターは災害の時の福祉避難所に指定されています。発電機の更新により障がい者の方も安心して避難できるようにになりました。  
○契約金額…108,581千円

### 寺本清春議長が全国町村議会議長会の副会長に就任!

7月12日に開催されました全国町村議会議長会臨時総会において、寺本清春議長が副会長に就任しました。



### 編集後記

開かれた議会、親しみのある議員活動を目指して「議会だより」を作成していきます。多くの町民の方に参加していただき、役場の事業に関してご意見、感想などを伺っていきます。「議会だより」は町民の皆さんと議会との懸け橋です。叱咤激励、厳しいご意見、楽しい励ましのお言葉などお待ちしております。

(委員長) 柳川平和  
(副委員長) 森本恵幸  
(委員) 山下裕矢・杉本雅照  
早川茂樹・稲塚利夫

